



Book Review

DVD 術者の視野で見るインプラント治療 1 Step by Step 下顎遊離端欠損

武田孝之 編著 井上敬介 著
矢島安朝 協力

シミュレーション代わりと考えて、何度となく車に同乗させてもらっても、運転はおろか地理さえも覚えられないものである。他人事として眺めているだけでは簡単に見えるハンドルさばきも、目的地への道順も決して大脳皮質には刻まれないという証拠であろう。

もうこれは実地しかないと思っていざ初運転に臨み地図を頼りに目的地を辿ってみても、上手にそして迷わずに到達するようになるにはそれなりの回数がかかるものである。その理由の一つはリアル感のない平面の地図では詳細な道路事情なども理解しがたいからだろう。それがどうだろう、GPS を利用したナビゲーターがあれば運転は確実にスマートになるのである。それどころか「迷う」という心配が減る分安全運転に集中することができる。そしてなぜか自信も湧き、気持ちにも大きなゆとりが生まれることになる。

初めてのインプラント治療も地図を見ながら運転する上記の情景に似ていないだろうか。もしそうならインプラント治療にもナビとなるようなリアルな手術のお手本があればと考えるのは私だけではあるまい。初心者なら誰でもそうなのだが、インプラントの参考書に一所懸命目を通して予習してみても、なぜか不安は一向に消えることはない。見学という疑似体験から一気に手術という実体験への飛躍は、避けては通れない行程であ

るが、いかにも高すぎる壁である。そこには「冒険」という二文字の存在があることを認めないわけにはいかない。

ところがこのギャップを可能なかぎり小さくしてくれる書籍が発刊された。車のナビと同様に術者に安心感をもたらす手引き書となり、術者のオペ事情が一変する可能性を秘めている。それが『Step by Step 下顎遊離端欠損』である。症例はインプラント治療の最適症が選択されていて即臨床への利用価値も高いが、もう一つ「DVD・術者の視野で見るインプラント治療」というサブタイトルがついていることにも注目したい。

中身を吟味してみると、まず驚くほど鮮明な画面なのである。そればかりではない。従来の撮影方法では口腔内を術者目線で捉えることは不可能であった。そのように見える映像でも、実はワンカットずつをつなぎ合わせることで、動画ではあるが手技が滑らかに展開する記録画面にはならないのである。

しかし、この DVD に収録されている映像は明らかに違う。しかも 2 倍のレンズを通して見る手技の軌跡は術者の座る位置の確定やオペ時の正しい姿勢の記録でもある。すべての画像が術者の視野の中心に捉えられていることで真に臨場感の溢れるものになっている。従来の DVD は本文の付録としての意味合いが強いが、今回は DVD が主役で本文を付録としておきたい。



A4 判変、96 頁
定価 12,600 円
(本体 12,000 円+税 5%)
医歯薬出版刊

編著者の武田孝之先生はこの道の第一人者である。その教えを受けた井上敬介先生の手技は丁寧でかゆいところに手が届く気配りがなされているし、何よりもテクニシャンである。基本の解説にこれほど行き届いた書籍はそう多くはないだろう。

内容を見るとわかるのだが、この書籍は著者が長年検討した文献や経験した多くの症例から生まれたノウハウの積み重ねから構成されたものだろう。その意味では決して初心者のためだけのものではない。自分の基本術式をもう一度見直してみるのには格好のサイドリーダーでもある。「基本に忠実に」とはどんなベテランにとっても、常に「座右の銘」でなくてはならない。まさしくその基準を示したといえるのがこの書籍の真骨頂なのであろう。

鈴木 尚
(東京都中央区・ナオ歯科クリニック)